

第二次清瀬市環境基本計画(平成28年度～平成30年度)実施計画実行実施状況報告

【資料3】

番号	取組	平成28年度計画内容	平成29年度計画内容	平成30年度計画内容	平成29年度実施状況	平成30年度実施見込み	平成31年度以降	担当課
1	省エネルギーに関する情報提供	市報・市HP等による啓発。年1回以上	同左	同左	市報・市HP等による啓発。年1回以上	同左	継続	水と緑の環境課
2	地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進	地球温暖化計画実行計画(事務事業編)策定	推進	同左	推進	同左	継続	水と緑の環境課
3	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定	策定に向けた調査・研究	事務事業編の着実な実行を優先することとし、区域施策編の策定は将来的な課題とすることとした。	—	中止	—	見直し	水と緑の環境課
4	低公害車の導入	2台導入	1台導入	同左	1台導入	導入なし	継続	総務課
5	住宅用太陽光発電等の設置助成	住宅用太陽光発電等の導入 70件 家庭用燃料電池の導入 20件	助成対象機器等の見直し検討(太陽熱等)	見直し適用	他市の事例等を参考に、補助対象に太陽熱システムを加えることなどについて検討したが、結果として予算化には至らなかった。	住宅用太陽光発電設備、家庭用燃料電池を対象に補助を継続。	継続	水と緑の環境課
6	省エネルギー機器の導入	省エネルギーに関する取り組みを市民や事業者によりわかりやすくするための情報収集	市報・市HP等で情報提供(年2回)	同左	未実施	未実施	見直し	水と緑の環境課
7	家庭での省エネとエネルギーのスマート化	日々の省エネ、エネグリー管理システム管理システムの導入の調査・検討	太陽光等の省エネの取組みを推進するための情報提供と導入支援の取組み	家庭によるCO2排出量の削減の支援	未実施	未実施	見直し	水と緑の環境課
8	ごみ減量、資源化に関する情報提供	市報・市HP等で情報提供(随時)市報特集(年2回)	市報・市HP等で情報提供(随時)市報特集(年2回)	同左	市報・HP・ごみアプリを通じて随時情報提供を実施。2/15号でごみ処理状況の特集を掲載した。	同左	継続	ごみ減量推進課
9	1人1日当たりの家庭ごみの排出量	421g	平成29年3月に策定された清瀬市一般廃棄物処理基本計画に基づき目標数値を修正、平成29年度421g、平成30年度415g	—	419g	415g	継続	ごみ減量推進課
10	広報活動の充実	ごみ分別アプリの普及率向上・PR	ごみ分別アプリの外国語対応の検討	ごみ分別アプリを活用した情報提供の再検討	ごみ分別アプリの外国語対応として多言語(三ヶ国語)の翻訳を実施した。	ごみ分別アプリに多言語(三ヶ国語)翻訳した「ごみ・市現物地区別収集表及びごみ分別マニュアル」を掲載	継続	ごみ減量推進課
11	資源ごみ回収業者、資源化事業者との連携	排出実態の把握と収集のあり方の検討	分別の徹底・異物の混入除去等による品質の向上	資源化率向上のための調査・研究	イベント時に容器包装プラスチック類、使用済小型家電の分別周知を実施。使用済インクカートリッジの回収実施。	剪定枝の資源化(堆肥化)処理委託化、食品ロス削減に向けた周知啓発	継続	ごみ減量推進課
12	資源化率の向上	22.50%	平成29年3月に策定された清瀬市一般廃棄物処理基本計画に基づき目標数値を上方修正、平成29年度28.8%、平成30年度29.2%	29.20%	26.90%	29.20%	継続	ごみ減量推進課
13	産業廃棄物の適正処理・不法投棄の防止	許可業者への分別徹底指導、事業系ごみに対する搬入時の監視強化	不適切な事業者に対する搬入規制及び指導の徹底	事業者の先進的な取組みを市報やHPにて普及啓発	事業系のごみ処理方法をHPにて周知。許可業者の更新手続き時に、ごみ分別・資源化の協力指導実施。	同左	継続	ごみ減量推進課
14	市内河川調査の水質調査	空堀川2カ所、柳瀬川3カ所を月1回調査実施、年1回まとめて公表	同左	同左	計画通り実施	計画通り実施	継続	水と緑の環境課
15	活動団体の支援システムの検討	活動団体・個人の情報収集	活動団体・個人の実態調査・登録制度の検討	実態調査結果をもとに支援策の検討	ボランティア活動団体の実態調査実施。一覧作成。	団体からの要望調査、予算への反映を検討する	見直し	水と緑の環境課

番号	取組	平成28年度計画内容	平成29年度計画内容	平成30年度計画内容	平成29年度実施状況	平成30年度実施見込み	平成31年度以降	担当課
16	管理用水路の緑化と親水性の向上	空堀川緑化再整備工事実施【東京都】	市占用部分の補修及び緑化	同左	市占用部分の補修、補植等管理の実施	市占用部分の補修、補植等管理の実施する	継続	水と緑の環境課
17	親水スポットの整備	親水公園整備に伴い湧水の活用した湿地帯の調査・検討	検討	整備計画策定	都の調査により、十分な湧水はないと判明したため、下の懇談会で「せせらぎ公園からの水路を利用した親水スポット」について検討した。	都の基盤整備事業の進捗状況に合わせて、懇談会を通じて検討を進める。	継続	水と緑の環境課
18	水辺の親水整備	清瀬橋付近親水公園整備懇談会再開	都の調査結果を受けて、清瀬橋付近親水公園整備懇談会を再開。	—	1月、3月に懇談会を開催。過去の答申をベースに都が作成したイメージ案をもとに、親水スポット、園内通路などについて意見交換を行った。	都の基盤整備事業の進捗状況に合わせて、懇談会を通じて検討を進める。	継続	水と緑の環境課
19	緑化義務の周知	市報・HP等による周知及び啓発、年2回以上	同左	同左	緑化義務への窓口周知及び啓発実施	6月から、市HPに「建築行為にともなう緑化基準」を掲載。	継続	水と緑の環境課
20	保全・管理計画の方針・計画の策定	管理計画の策定	中里一丁目緑地の管理計画(萌芽更新)策定	—	管理計画に基づく萌芽更新の実施。4年計画の1年目。	管理計画に基づく萌芽更新の実施する。4年計画の2年目。	継続	水と緑の環境課
21	生け垣助成	5件	5件	5件	1件	5件	継続	水と緑の環境課
22	特別緑地保全地区等の指定及び公有地化		平成29年度に中里一丁目緑地の公有地化を実施(公社)	—	3月、土地開発公社により、中里一丁目緑地用地1,094㎡を先行取得。	—	継続	
23	市民を対象とした農地の現地見学会	市内又は近隣市の農地見学会の実施(年1回)	市所有のバスが廃車となり、バスでの見学会実施は困難であるため、今後は消費生活センターで地場産物を使った料理講座を行い、市民の地産地消意識と都市農業への理解を深める	—	未実施	—	見直し	産業振興課
24	生物多様性の保全に関する情報提供	生物多様性を保全するため、市内の外来生物の情報収集	情報収集した外来種の調査結果を生物多様性地域戦略の中で検討	市報、HP等を通し、外来生物などの情報提供	生物多様性戦略の策定検討を行うとともに、市内の外来生物の被害状況などについても確認した。	生物多様性地域戦略を策定し、市HPに掲載する予定。	継続	水と緑の環境課
25	公園等における生き物の生息可能な環境の保全	生き物の生息可能な環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施	同左	同左	生き物の生息可能な環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施	生き物の生息可能な環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施する	継続	水と緑の環境課
26	「生物多様性地域戦略」の策定	生物多様性に関する研究会や見学会に参加し情報収集	「生物多様性戦略」策定のため、研修会等の参加を継続。	生物多様性地域戦略の策定及び公表	「生物多様性戦略」策定のため、研修会等の参加を継続。	生物多様性地域戦略の策定及び公表	完了	水と緑の環境課
27	地域特性を活かしたまちづくりの方向性	東3・4・15の2号線沿線のまちづくりに向けた地区計画検討	地区計画策定策定に向けたアンケート、説明会の実施	東3・4・15の2号線沿道地区計画策定	地区計画策定に向けたアンケートまちづくり懇談会の実施	東3・4・15の2号線沿道地区計画(1期)策定	継続	まちづくり課
		都営清瀬野塩アパートの地区計画検討、説明会実施	都営清瀬野塩アパート築計画策定	—	都営清瀬野塩アパート地区計画策定	—	完了	まちづくり課
28	新鮮で安全・安心な野菜販売の促進	農業まつり等のイベントによる周知活動及び直売所マップの配布等を実施	同左	同左	農業まつり等のイベントによる周知活動	同左	継続	産業振興課
29	地産地消の推進	学校給食納入促進のため出荷調整及び収集場所などについて支援策を検討する。	関係部署と実効性及び裕先生のある支援策を検討する	実効性のある支援策の実施をする	関係部署による収集所の設置と配送を実施。新たに買い物不便地域での直売をJA等の協力により実施。	不便地域での直売を継続し拡大を検討する。	見直し	産業振興課

番号	取組	平成28年度計画内容	平成29年度計画内容	平成30年度計画内容	平成29年度実施状況	平成30年度実施見込み	平成31年度以降	担当課
30	市有林や公園などの「植生管理方針」の策定	公共施設のみどりの管理方針策定	管理方針策定のための、みどりの環境保全審議会を実施し、公共施設のみどりの管理方針を策定していく。	—	1月、施設を所管する課の職員を委員とした庁内検討会を開き、各管理施設の課題のヒアリングなどを実施。	庁内検討会2回、みどりの環境保全審議会5回(うち3回現地視察)を開き、管理方針を策定する。	見直し	水と緑の環境課
31	近隣住民による公園の維持管理の取組数	2カ所	3カ所	5ヶ所	2カ所	2カ所	見直し	水と緑の環境課
32	柳瀬川回廊事業の推進	柳瀬川回廊事業推進検討委員会設置	設計	整備	4回の会議を行い、11月、柳瀬川回廊事業の推進案を市長へ答申。	整備の年次計画策定、公園用地内の不要樹木の伐採・伐根。	継続	水と緑の環境課
33	公園の計画的な再整備	市内公園の配置状況を再確認し、公園の不足地域の実態調査	地域ごとに新規公園の設置の可能性を検討	新規公園設置の難しい地域は既存公園の再整備計画を検討	市内公園の配置状況を図面化。不足地域の確認。	公園不足地域に新規公園を整備する。近隣住民にアンケート調査実施。	見直し	水と緑の環境課
34	市民の生活環境に対する意識の向上	市報・市HP等で情報提供年1回以上	同左	同左	外来種や飼い主のいない猫、野焼きなど、身近なテーマで定期的に情報発信を行っている。	同左	継続	水と緑の環境課
35	大気、騒音、振動等の定期的調査	定期測定と公表の実施 市報・HP等で年1回公表	同左	同左	予定どおり実施。調査結果を「環境調査の概要」としてまとめ、市HPで公開。	同左	継続	水と緑の環境課
36	法律や条例等に基づいた規制・指導	個別調査及び事業者への指導	同左	同左	事業所等が原因となる苦情について、個別に事業者等への指導・依頼により対応している。	同左	継続	水と緑の環境課
37	市民、事業者に自動車の効率的な利用等	ノーカーデーやカーシェアリング等環境負荷を軽減する仕組みの導入について調査・研究	市民、事業者への実施に先行して、清瀬市役所内でノーカーデーを実施できるかについて検討する。	—	ノーカーデーの実施について検討を行ったが、現状での実施は難しいとの結論となった。	—	見直し	水と緑の環境課
38	化学物質の適正な管理の規制・指導	毎年、定期的に適正化学物質の使用量等を報告 より安全な化学物質への転換や排出量の削減等の指導	同左	同左	予定どおり実施	同左	継続	水と緑の環境課
39	柳瀬川右岸第8-1排水区の整備面積率(整備面積:115ha)	中里五・六丁目地内～旭ヶ丘一丁目地内 0%(施行開始)	中里五・六丁目地内～旭ヶ丘一丁目地内 0%(施行中)	枝線整備、幹線接続40%(46ha)	幹線整備24%(28ha)	幹線整備40%(46ha)	継続	下水道課
40	都市計画道路施行による取組	事業中である都施行路線の沿道環境の協議及び要望	同左	同左	同左	同左	継続	まちづくり課
41	公共施設建設事業による取組	新庁舎建設において周辺環境との調和を検討	新庁舎建設において周辺環境との調和を検討	新庁舎建設において環境に配慮した緑豊かな外部空間を創造する	基本設計において、周辺環境に配慮して建物高さを抑え、緑豊かな“清瀬らしさ”を創出するため、緑地ひろばを敷地内に計画した。	基本設計に基づき、実施設計において、周辺環境に配慮した建物高さの抑制、敷地内の緑地整備を計画する。	継続	新庁舎建設室
42	地域の美化活動の推進	廃棄物減量等推進委員の活動体制の見直し	アドプトシステムの実施支援	市内一斉清掃の活動内容の検討	アドプト制度協力団体(10団体)が市内5箇所にて清掃活動実施。清掃用具の調達、特定分煙強化地区路面シール(2箇所)張替を行った。	一斉清掃専用袋サイズの見直し、一斉清掃開始セレモニーの休止及び臨時集積所の見直し。	継続	ごみ減量推進課
43	放置自転車の解消	特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をすとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送	同左	同左	同左	同左	継続	道路交通課
44	工事に伴う公害防止の推進	市道4034号線補修工事	平成29年度市道0104号線舗装補修工事 平成30年度市道0106号線舗装補修工事	—	市道0104号線舗装補修工事	市道0106号線舗装補修工事	継続	道路交通課



番号	取組	平成28年度計画内容	平成29年度計画内容	平成30年度計画内容	平成29年度実施状況	平成30年度実施見込み	平成31年度以降	担当課
45	自転車が安全に移動しやすい環境整備	「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等の設置を進め、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努める	同左	同左	同左	同左	継続	道路交通課
46	路線・便数の調査・検討	2ルート・365日・24便運行・乗降調査・事業検証	市民アンケート	アンケート結果によるあり方検討	満18歳以上の市民1,000人にアンケートを実施	アンケート結果によるあり方検討	継続	道路交通課
47	歩道のバリアフリー化	市道0115号線実施設計	市道0115号線道路整備工事I期工事	市道0115号線道路整備工事II期工事	市道0115号線道路整備工事I期工事	市道0115号線道路整備工事II期工事	継続	道路交通課
48	自主防災組織の拡充	自主防災組織(12団体)	自主防災組織(15団体)	自主防災組織(18団体)	自主防災組織(13団体)	自主防災組織(18団体)	継続	防災防犯課
49	災害用マンホールの整備	3校 15基設置等(計6校)	3校(計9校)	3校(計12校)	3校(計9校)	3校(計12校)	継続	防災防犯課
50	防災拠点の防災性の向上	災害用食糧備蓄完了(9万食、9万ℓの水)	更新	同左	災害用食糧備蓄完了(9万食、9万ℓの水)	災害用食糧備蓄完了(9万食、9万ℓの水)	継続	防災防犯課
51	5R講座の開催	出前講座の開催(自治会等との連携)	ごみ処理施設見学会の支援(三多摩一ツなり交流事業)	5Rに関する取り組みやアイデアを募集し発表	三多摩は一ツなり交流事業(10/3実施)出前講座(5/15実施)において、ごみの減量・資源化の周知啓発を行った。	三多摩は一ツなり交流事業(親子見学会)の実施、自治会等の要望に応じて、ごみに関する周知啓発	継続	ごみ減量推進課
52	外部人材団体、施設等の活用・連携の推進	小学校社会科副読本「私たちの暮らしとごみ」に基づく社会科見学(柳泉園やリサイクルセンターへの訪問)	同左	同左	同左	同左	継続	指導課
53	小中学校における環境教育活動	小学校:社会科副読本「私たちの清瀬」に基づく学習 中学校:社会科や理科を中心とした教科書に基づく学習	同左	同左	同左	同左	継続	指導課
54	次世代を担う人材の育成	環境リーダー講習会の開始に向けての調査・研究	同左	環境リーダー講習会の実施 年1回開催	未実施	未実施	見直し	水と緑の環境課
55	市民、中小事業者を対象とした環境学習講座	環境学習講座の開催に向けての調査・検討	きよせの環境・川まつりを環境学習講座に替わる環境学習の場として展開していく。	—	7月にきよせの環境・川まつりを実施、市内の各団体の環境活動の発表とともに、子供たちの環境学習の場として展開した。	同左	継続	水と緑の環境課
56	空間放射線量などの定期測定	清瀬小学校の定点観測 市報やHPでの結果月1回公表	同左	同左	予定どおり実施・公表	同左	継続	水と緑の環境課
57	きよせの環境・川まつりの開催	参加団体38団体 来場者数7,200人	参加団体43団体 来場者数7,900人	参加団体48団体 来場者数8,500人	参加団体30団体 来場者数7,500人	参加団体33団体 来場者数5,300人	継続	水と緑の環境課
58	環境調査の概要	環境施策の実施状況及び環境測定状況調査報告書の作成 年1回公表	同左	同左	「環境調査の概要」を作成、市HPIにて公開	同左	継続	水と緑の環境課
59	環境審議会の開催	市の環境施策、環境問題、環境基本計画実行等について、審議会を開催 年2回開催	同左	同左	11月2日に開催	11月、3月の年2回開催予定	継続	水と緑の環境課